

# 2019 年度 授業概要

科目名	整形外科学				授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択

## [授業の目的・ねらい]

整形外科学は、理学療法士科・作業療法士科の学生が、脊柱・脊髄、骨・関節、末梢神経、筋肉・腱などの運動器の解剖と機能を理解し、卒業までに必要な運動器の外傷と疾患の身体所見、検査、診断方法、治療法についての基礎的な知識を身につけることを目的とする

## [授業全体の内容の概要]

卒業までに必要な運動器の外傷と疾患の身体所見、検査、診断方法、治療法についての基礎的な知識

## [講師の実務経験]

## [授業終了時の達成課題(到達目標)]

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1.運動器の概念と生理を説明できる   | 2.外傷学(骨折・脱臼・スポーツ外傷)を説明できる |
| 3.リウマチ性疾患を説明できる   | 4.変形性関節症を説明できる            |
| 5.脊椎・脊髄の疾患を説明できる  | 6.末梢神経損傷を説明できる            |
| 7.上肢の疾患を説明できる   | 8.下肢の疾患を説明できる             |
| 9.骨系統疾患を説明できる   | 10.代謝性疾患を説明できる            |
| 11.軟部組織・骨・関節感染症を説明できる   | 12.骨腫瘍を説明できる              |
| 13.軟部腫瘍を説明できる   | 14.脊髄腫瘍を説明できる             |
| 15.運動器の外傷や疾患に興味を持ち、整形外科学的な視点から、身体所見や診断方法・治療方法について考えることができる(態度・習慣) |                           |

回数	講義内容
1	運動器の概念と生理①
2	運動器の概念と生理②
3	運動器の概念と生理③
4	外傷学①
5	外傷学②
6	外傷学③
7	リウマチ性疾患
8	変形性関節症①
9	変形性関節症②
10	脊椎・脊髄の疾患①
11	脊椎・脊髄の疾患②
12	末梢神経損傷①
13	末梢神経損傷②
14	上肢の疾患
15	下肢の疾患
16	骨系統疾患
17	代謝性疾患
18	軟部組織・骨・関節感染症
19	骨腫瘍
20	軟部腫瘍
21	脊髄腫瘍
22	整形外科リハビリテーション
23	総合
	定期筆記試験

## [準備学習・時間外学習]

## [使用テキスト]

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学		医学書院

## [単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)]

単位を取得するには期末試験100%のうち60%以上の得点が必要